

# 2012 年第 2 回 IEEE Shin-etsu Section 役員会議事録

日時：10 月 13 日（土）12:10 - 13:00

場所：新潟大学 工学部 小会議室

## 【出欠確認】

●は出席、★は欠席

### Elected Officers

●Chair	大石 潔、長岡技術科学大学、	弁当（要）、交通手段：車
●Vice Chair	金子双男、新潟大学、	弁当（要）、交通手段：----
●Secretary	岩橋政宏、長岡技術科学大学	弁当（要）、交通手段：電車
●Treasurer	佐々木重信、新潟大学、	弁当（要）、交通手段：----
★Past Chair	岡本正行、信州大学 工学部、	----

### Standing Committee Chairs

●Membership Development	角山正博、新潟工科大学	弁当（要）、交通手段：自家用車
●Student Activities Chair	劉小晰、信州大学	弁当（要）、交通手段：車
●Nominations Chair	山口芳雄、新潟大学、	弁当（要）、交通手段：----
●Technical Program Chair	アギレ・エルナン、信州大	弁当（要）、交通手段：バス

### Other Executive Committee Members

★	アサノ デービッド、信州大学	----	交通手段：----
●	宮崎敏昌、長岡技術科学大学、	弁当（要）、	交通手段：自家用車

## 【議事 1】IEEE 信越 session の学生表彰

1. 口頭発表（全 9 件）とポスター発表（全 9 件）から、各 1 名（計 2 名）を表彰した。
2. 各セッションにつき 3 名の審査員を指名した。担当はエルナン先生（Technical Program Chair）。

09：40～10：40	IEEE I	<u>大石潔（長岡技大）、山口芳雄（新潟大）、エルナン・アギレ（信州大学）</u>
11：00～12：00	IEEE II	<u>佐々木重信（新潟大）、角山正博（新潟工大）、カワモト・ポーリン（信州大学）</u>
13：10～14：10	Poster	<u>岩橋政宏（長岡技大）、金子双男（新潟大）、劉小晰（信州大）</u>

3. 表彰状は、表彰対象者の名前を当日会場で入力し、17:00 開始の懇親会までに印刷。  
担当は、岩橋（secretary）で、村松先生（新潟大・IEICE 信越支部）の協力を得た。
4. 懇親会時に、図書券（1 万円分）と共に、大石先生（chair）から対象学生へ手渡した（写真撮影）。
5. 表彰状の用紙、ホルダ、図書券 1 万円×3 名分、を事前に準備した。担当は、岩橋（secretary）。

- ・ 1,430 円、 表彰状の用紙
- ・ 2,835 円、 表彰状のホルダ
- ・ 30,000 円、 図書券 1 万円×3 枚

計 34,265 円

6. 審査の結果、以下の2名を選出し、懇親会時に表彰した。Section 支援費が一律、昨年実績の57.7%に減額(42.3%削減)されたことを受け、昨年実績4名のところ、今年は2名とした。

1 New Time Petri Net Modelling Tool for Beginning Designers

Pratima Kumari Shah

2 Evaluation of GPS Positioning for DTN Sensor Network Using Autonomous Air Vehicle

Phuong Tran Thi Ha

## 【議事2】Membership Development 活動

1. IEEE Member Development Kit の活用方法 (角山先生, Membership Development) 【資料1】

・MD Kit の主な内容

- (1) Engineering a Bright Future with IEEE (40部)
- (2) 2012 IEEE Membership Application (2冊)
- (3) ボールペン (40本)
- (4) IEEE シール (40枚)
- (5) Get a Member Get Rewarded(40枚)
- (6) ポスター (4枚/セット、5セット)
- (7) カード (40枚)

・活用方法

国際会議参加料補助申請者で、IEEE 未入会の学生に優先的に送付、IEEE に入会してもらう。

11月の電気学会でもOK

(角山先生からのメールを抜粋)

2. Membership Development Report (角山先生, Membership Development) 【資料2】

a. 会員数及び更新率

b. R10の更新率と会員獲得数上位 Section

更新率上位3は、Hiroshima(92.9%), **Shin-Etsu(90.0%)**, Tokyo(89.8%)

獲得数上位3は、Seoul(608人, 95.6%), Gujarat(538人, 126.5%), Bombay(499人, 17.09%)

c. Shin-etsu Sectionの2012年新規会員は、14人 (Member:5人、Student::9人)

3. 「MD Kitの活用方法について」に記したポスター等

大会当日の朝、担当役員がポスターを会場に貼り、PR活動を実施した。

4. Membership Development Strategy & Plan (角山先生, Membership Development) 【資料3】

「Membership Development Strategy & Plan」を作成し(大石 chairと角山MD)、IEEE Asia Pacific Operations CentreのFanny Su (Manager)へ提出した。

5. Region 10 webcast

以下の招待状があったが、日程の調整がつかず、今回は不参加となった。

Date: Thu, 27 Sep 2012 10:03:36 +0800  
From: IEEE APO - Fanny & Ewell <ieeepo@pacific.net.sg>  
To: 'TSUNOYAMA Masahiro' <mtuno@iee.niit.ac.jp>

Dear Professor Masahiro Tsunoyama (Shin-etsu Section),

Our Region 10 Membership Development Coordinator, Hang Bong Kang is planning to have a Region 10 webcast on the 9 Oct at 9pm (Seoul Time). If you are available, he would like to invite you to give a presentation on your Shin-etsu Section

MD plans for 2012. Time allocated is 5-10 mins, so 2-3 slides will be sufficient to highlight your Section SWOT analysis, specific events that your Section organizes and special Section benefits (if applicable) to recruit and retain local members. Attached is a draft agenda of the webcast on the 9 Oct at 9pm (Seoul Time). Appreciate if you could let me know if you are able to accept the invitation to be a presenter to share your Section MD plans. We look forward to hearing from you.

Best regards,  
Fanny

### 【議事3】セクション支援費

1. 「Section 支援費を一律、昨年実績の 57.7% (42.3%削減)」 【資料4】  
2012年 IEEE-JC 第2回理事会資料 (2012年7月25日)  
「為替差損の基づく 2012年度予算執行における Section 支援費の扱いに関する基本的考え方」  
「2012年度予算において、円-ドル為替変動 (ドルに対する円高) による米国本部よりのドル建てリベートの円換算における実質予算減少を考慮し、各支部への円建て Section 支援費を一律、昨年実績の **57.7% (42.3%削減)** にすることが承認された。」

2. 「Section 支援費申請書 **(42.3%削減案)**」を JC へ提出した (8/19) 【資料5】

#### ● 『IEEE Shin-etsu Young Researchers Paper Awards』

・		75,000	→ 43,000円 (42.7%削減)
内訳:	表彰状ホルダ等	15,000	→ 8,600円
	副賞	60,000	→ 34,400円
・	IEICE と電気学会、	それぞれ 2~3	→ 1~2名程度

#### 【参考】

昨年 of IEICE 支部大会は、口頭発表 3 + ポスター 1 = 計 4 セッション。  
4 セッション × 1 名 × 図書券 1 万円 = 4 万円。  
電気学会は、1 名 × 図書券 1 万円 = 1 万円。

#### ● 『IEEE Shin-etsu 学生国際会議参加費補助』

・		250,000円	→ 144,000円 (42.4%削減)
・		5万円 × 5名	→ 4.8万円 × 3名

#### 【参考】

昨年は 5 万円 × 5 名 = 25 万円

4. 会計収支について、佐々木 Treasurer より説明があった。 【資料11】

### 【議事4】学生国際会議参加費補助

1. 学生への国際会議参加支援を、これから公募するか否か？  
申請金額： **250,000円** (補助費：40,000円 × 最大で5名)。
2. 10月中旬に公募し、11月15日を締め切りとする。
- ・今年も、secretary から役員へ連絡し、各大学に案内してもらい、ウェブ上でも公募情報を公開する。
  - ・以下、去年の例。

応募条件は、2011年1月1日～2011年12月31日までに、国際会議で発表する学生。

選抜時の優先順位は、学生の資格については、第1に IEEE 学生会員、第2に会員入会手続き中の者。

会議については、第1に IEEE 主催、第2に IEEE 協賛の会議。

公募締切は11月21日の12:00。指導教員が secretary に書類を提出。

申請書類には、call for paper を添付。採択済みでこれから発表する場合は、採択通知も添付。

昨年は、10/2の時点で4名応募。更に2名を追加公募。締め切りは11/25。

## 【議事5】講演会の開催

1. 信学会や電気学会から謝金を出してもらい、IEEE から旅費を支払う（IEEE のポリシーでは謝金を払わない）。予算計画上は 10 万円を計上してある。

① 講演テーマ：FM 放送局における情報電子工学

講師：高木 典昭

所属・役職：株式会社エフエム大阪・技術部長

実施日時：平成24年7月27日（金）15：00～16：30

実施場所：新潟工科大学 LB-12 講義室

連絡先：新潟工科大学、佐藤栄一、電話：0257-22-8173、E-mail：esato@iee.niit.ac.jp

担当：新潟工科大学 情報電子工学科 角山正博

交通費は不要／IEEE の経費はゼロ

角山> IEICE の下記講演会に、IEEE 信越支部の共催をお願いして承諾を頂きました。

大石> 協賛、後援（Technical Co-sponsor）の方が良いです。（経費負担が全く無いので）

角山> IEICE 信越支部には、協賛にして貰うようお願いしました。（6/14）

② 名称：新潟支所研究発表会・特別講演

日時：11月10日

場所：長岡技術科学大学工学部

担当：長岡工業高等専門学校 恒岡まさき（長岡技術科学大学工学部電気系 宮崎敏昌）

講師：伊藤 裕（藤ユタカ技術士事務所・所長（元㈱日立製作所 主席技士））

交通費は不要／IEEE から交通費を負担する

水戸—上野經由—長岡（JR 11,990円）

自宅—水戸駅、長岡駅—長岡技大（タクシー）

③ 講師：Suhana bt Mohd Said, Dr.,

Senior Lecturer, Department of Electrical Engineering, University of Malaya, Malaysia

講演タイトル：

Solar cells and Thermoelectric devices: Materials and Devices Investigation at the University of Malaya

日時 2012年10月15日（月）14:40-16:10

場所 長岡技術科学大学電気1号棟611会議室

担当：長岡技術科学大学工学部電気系 木村宗弘

費用負担・収支差額配分比率と清算

謝金負担： 社団法人電子情報通信学会信越支部

宿泊費負担： IEEE ShinEtsu section

共催にあたり、「講演会共催に関する覚書」を交わした。

【資料6】

④ R10-HTC 2013 国際会議（東北地区で開催）の共催について

R10-HTC2013 国際会議（東北地区で開催）の共催になって欲しいとの由、JC より依頼があり、審議の結果、共催になることとなった（5月15日）

IEEE 支部長各位殿

2012年4月27日 IEEE Japan Council Chair 今井 秀樹

日頃より、IEEEの支部活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。

過日、Japan Council 理事会でも簡単に紹介させていただきましたが、Region10より、Humanitarian Technology 関連についての Region Conference を開催する計画があり、日本で開催することの検討を要請されております。IEEEとして大切な領域であり、また、震災への関心もあって日本での開催を申し入れがあったので、是非、お受けする方向で考えたいと思っております。Conferenceの主旨などにつきましては、添付いたしました資料をご欄いただければ幸いです。実行にあたっては、通常のテクニカル国際会議と同様に運営組織を構築して実行をはかりたいと考えておりますが、日本の有志支部の合同の共催という形をとりたいと思っております。参加支部としての、直接の資金的、リソース的なご負担をかけない形で、参加いただけるように取り計らいたいと考えておりますので、是非、共催支部としてご参加いただけますようご案内とともにご高配をお願い申し上げます。

公式の立ち上げを急ぐ必要があるため、参加をいただける場合には、その旨、5月31日までにジャパンカウンシル事務局(メール: jc@ieee-jp.org)までご回答下さいますようお願い申し上げます。

⑤ 電気学会主催マグネティックス研究会

日時 6月21～22日

場所 信州大学工学部

出席者数：89名

担当：曾根原 誠 (信州大学)

電気学会との協賛とした。経費負担は無し。

## 【議事6】電子情報通信学会／電気学会への協賛金

担当：佐々木 treasurer

1. IEICE への協賛金 (45,000 円)、IEEE Shin-etsu session 開催に関して。8/30 に振り込んだ。
2. IEEJ への協賛金 (45,000 円)、IEEE Shin-etsu session 開催に関して。10/9 に手続き完了。 【資料7】

## 【議事7】第2回 Japan Council 理事会報告

1. 7/27、北海道にて開催され、大石 chair が参加した。 【資料8】  
当日は「2012年第2回 JC\_信越支部活動状況報告」について説明した。 【資料9】  
内容について、大石 chair より説明があった。同資料はウェブ上にアップロード。  
第3回は、12/18、東京にて開催される。

## 【議事8】各 chair からの報告

- 山口芳雄 Nominations Chair より、次期役員選挙について説明があった。 【資料10】  
また、シニアメンバーへの昇格について説明があった。

## 【議事9】今後の日程

- ・2011年11月10日 : 第3回役員会 (電気学会 東京支部 新潟支所 研究発表会)
- (2011年12月) : 必要に応じて開催